

全国年明けうどん大会 2019 in さぬきへ出展

三重県製麺協同組合



三重県製麺協同組合(堀哲次理事長)は、12月7日、8日の2日間、香川県高松市で開催された「全国年明けうどん大会 2019 in さぬき」へ出展しました。

本大会は、北海道から沖縄まで日本全国の「ご当地うどん」「年明けうどん」が、うどん県である香川県に集まり、食べくらべができるというイベントであり、今回は18都道府県から23種類のうどんブースが出展されました。

昨今はメディアでも「やわうどん」が特集され、「伊勢うどん」が注目されており、当組合は、太くてやわらかい、うどんに独特の黒いたれをまぶして食べる「あおさ入伊勢うどん」を提供し、三重のうどんの魅力を伝えるとともに、商品アピールを行いました。

「ご当地四日市鍋」創作コンテスト第2回予選大会を開催

萬古陶磁器振興協同組合連合会

萬古陶磁器振興協同組合連合会(鈴木靖治理事長)は、2月2日、「ご当地四日市鍋」創作コンテスト第2回予選大会を開催しました。

この大会は、土鍋の生産日本一の四日市で名物土鍋料理「ご当地四日市鍋」を市民の皆さんと創り出し、全国に広めようというもので、平成30年から3回の予選大会を行い、令和4年の決勝大会で、各予選を勝ち抜いた土鍋料理の中から「ご当地四日市鍋」を決定します。

今回は、2回目の予選大会で四日市市内の11飲食店が出場し、創作鍋を来場者に提供しました。投票及び審査の結果、四日市牛肉吸い鍋を創作した「下町酒場さらく」が優勝しました。

会場は、コンテストに出場した飲食店の出店のほか、ステージではラジオの公開録音やダンス、合唱、ビンゴ大会等のイベントがあり会場を盛り上げ、約5千人が来場し賑わいました。



中小機構中部からのお知らせ

中小機構の海外展開支援について



国内市場の縮小、生産年齢人口の減少が進む今日、中小企業・小規模事業者にとって海外展開に関する取り組みは、業種や企業規模を問わず、避けては通れないテーマとなっています。

国の中小企業施策の総合実施機関である中小企業基盤整備機構(略称:中小機構)では、中小企業・小規模事業者のみなさまに対し、海外展開のご支援を実施しています。今回は、海外展開の取り組み初期段階で活用できる支援メニューをご紹介します。是非ご活用ください。

【海外ビジネスナビ:事例紹介】

中小企業の海外展開事例や海外ビジネスのお悩み解決のヒントになるノウハウ、Q&Aや海外の最新情報をタイムリーに配信している情報サイトです。詳細は下記ウェブサイトをご覧ください。

<https://biznavi.smrj.go.jp/>

【海外展開セミナー:情報提供】

初めて海外展開に取り組もうとする中小企業・小規模事業者のみなさまを主な対象としたセミナーです。中小機構の専門家が、海外の最新情報、実務的な知識、手法などについて、自身の実体験や事例を織り交ぜながら講演します。開催予定につきましては、中小機構中部本部のウェブサイトにてご確認ください。

https://www.smrj.go.jp/regional_hq/chubu/index.html

【国際化支援アドバイス:個別相談】

海外でのビジネス展開を目指す中小企業・小規模事業者のみなさまの課題やお悩みに対し、海外での豊富な実務知識・経験・ノウハウを持つ専門家がアドバイスいたします。中小機構の全国9か所の本部・地域本部において、課題が解決するまで、「無料で」「何度でも」ご利用いただくことができます。お申し込みは、下記ウェブサイトで受け付けています。

<https://www.smrj.go.jp/sme/overseas/consulting/advice/index.html>

<お問い合わせ> 中小機構中部本部 企業支援部 支援推進課 TEL:052-201-3068